## 平成27年度町政懇談会記録(要旨)

開催日: 平成27年10月24日(土)

開 会: 午後18時40分 閉会:午後20時16分

場 所: 筑紫集落センター

参加者 : 男28人、女9人 計37人

町職員 : 町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

## 《懇談》

男性

わたしの身内の空き家についてなのですが、テレビや新聞で今後増税されるとか是 正の勧告を受けるという話を聞き、権利者ではないのですが身内として心を痛めてお ります。今すぐではないと思うのですが、東員町ではどの程度になったら空き家は是 正勧告を受けるのか、また増税されるのかどのようにお考えですか。

町長

まだ整理はついていませんが、空き家については状態、所有者も含めて今年調査をさせていただきました。東員町の空き家率は全国平均と比べて高くはありません。あるにはあるのでどうするのかという話なのですが、空き家がまだ使えるものなのか、倒壊の恐れがあるものなのか、使えるのなら家族のために残しているものなのか、売ってもいいのか貸してもいいのか、そこまで調査をさせていただいています。

遠くに家族がいて使うんだといわれる場合はどういう風に使われるのか、例えば1、2年したら帰ってきて使うということなのか、よくあるのですが、遠くで生活していて帰ってこないのに残しておくんだという方もみえます。そういう状態の空き家であるならば、誰かに売るとか貸すとか、そういう話をしていただくと、我々もこういう物件あるよという話はできると思います。

住んでいただければ税金はおそらく今までどおりだと思います。最近若い人の間では古民家ブームというのがありまして、我々も物件を紹介して集落の中に住んでいただける若い人が見えれば活性化すると思います。新しい建物を建てて住んでもらうよりも本来ならそういった空き家を利用して住んでもらうのがいいのかなと思っています。まだ調べただけで整理はできていないので、今年度中に方針を決めて整理していこうと思っています。

またご相談することもあるかもしれませんので、そのときにはよろしくお願いします。

男性

資料の4ページ目ですが、これは自治会ごとの集計ですか。わたしは先祖代々筑紫に住んでいるのですが住所は穴太なんです。それ自体もなんとかうまくできないかなといつも思っていたんです。この資料をみると瀬古泉より筑紫の方が人口が100人

多い。間違いないですか。

政策課長

このグラフの縦軸のメモリが違うのかもしれません。これは国勢調査から出させて もらったものなのですが、筑紫地区でも穴太の住所である、いわゆる字界がありまし て、筑紫の自治会としては戸数は50いくつという話でしたが、少し縦軸がおかしい のかもしれません。

男性 54 戸しかないから1戸あたり9人くらい。これはおかしい。

町長 これはおかしいので直します。

男性 町会議員も筑紫の人だけど住所は穴太なんだよ。

政策課長

町内では筑紫だけではなく飛び地があったり入り乱れていたりして、一定の地域内に同じ字というようにはなかなかなっていません。しかしこれを解消しようとすると字の区域内の見直しの手続きをとって、議会の議決を経て県に届出をしてといった手続きが必要になります。そうすると筑紫の中で穴太の住所を取っていただいている方は筑紫に変えるということで、銀行口座とか運転免許証の住所とかすべてを変えてもらわないといけないということがありまして、戻す戻さないというのにもひとつの議論があるところです。行政としても非常に難儀しているところでございます。

男性 結局この表は自治会単位のものになっているんですか。それとも住所によるもので すか。

政策課長 国勢調査でまわらせていただいている区域です。

男性できたら自治会単位のほうがいいなあ。

男性 北勢線についてなのですが、町からはどのくらい負担しているのでしょうか。

政策課長 桑名市、いなべ市、東員町で2億強。東員町としましては4千4、5百万ほどです。

てると思います。そこで 75 歳以上の方に子ども並みの料金でやってもらえないかな と思います。免許証を身分証明書にして 75 歳以上の人はこれを見せたらよろしいと いうことはできないのかなと思います。

男性 身分証明書みたいなのを発行してもらって2年に一回くらいの更新でお願いしたい。

町長 早急に申し入れさせていただきます。

男性 わたしも先月の 29 日に駅に言ったんですよ。そのとき駅の人が業者に連絡しますって言ったんです。業者ってなんだろと。あの建物は東員町のものですか。

男性 なんだかね、いいかげんな返事なんですよ。業者に言っておきますといわれても、 こちらは三岐の時計なんじゃないかなと思うものですから。それ以上はつっこみませ んでしたが直らないし。

政策課長 一時は三岐の社員で直そうとしたらしいですが、どうも直せなかったらしく、部品 を取り寄せているので少し待ってほしいというのは聞いています。

男性 ちょっと待てが長い。駅で時計が止まっているのはかっこ悪いから。

政策課長 行政からも支援をさせていただいていますので、しっかりやるように言わせていた だきます。 男性

ふるさと納税のことについてですが、ブームになっていろんなところで利用されているわけですが、東員町は1件10万円だけ。テレビで見て、あちゃちゃと思ったんですが、特産物がないなら勘考してでも結構ですが、何か町をみんなに発信する材料がないといけないと思うんです。何かないでしょうか。

町長

まずふるさと納税と特産品作りを分けて考えていただきたい。私はふるさと納税は日本を壊す悪法だと思っています。あれは東京とか大都市から自分のふるさとに払うべき税金の一部を納めるという趣旨で、寄付という形でふるさと納税はあります。ところが今は東京からでなくてもどこでもいいんです。例えば東員町の人が、あそこの美味しいものが欲しいわと思ったらそこへ納税すればいい。例えば10万円を寄付すると5万円の何かを手に入れる、そうすると東員町に2千円納めればあとは返ってくるんですよ。その方は2千円で5万円のものが手に入るというわけなんです。そういうことが全国で行われていて何十億というお金がまわっているんです。

ところが先ほどの例だと東員町は本来 10 万円入ってくるはずのところ 2 千円しか入ってこないからマイナス 9 万 8 千円なんです。寄付を受けたところは 10 万円いきますが、5 万円は返しますので 5 万円の得をします。しかし東員町とそこのまちのトータルでいくとマイナス 5 万円なんですよ。5 万円個人にいくわけですから。ということは地方の税金は下がるんです。実は東員町はほかに寄付する方が結構いらっしゃる。東員町はマイナスになっています。カタログショッピングみたいな感覚なんですよ。自分のふるさとを思って納税するという趣旨はどこかへいってしまっている。この制度はやめてほしいと国にも言っているのですがなかなかやめてもらえません。

そのことは置いておいて、東員町を発信するための特産品は開発しなくてはと思っています。先ほども言ったように喜び農業で何か特産品を作って、加工することで得られるものはあるのかなと。それから文化的にすばらしいものを皆さん作ってもらっています。それを発信の材料として使うことはできるのかなと思います。とにかく町外から来てもらって、ここでお金を落としてもらう仕組みが必要だと考えています。特産品も作り東員町として発信できるものを作っていかなければならないのかなと思っています。

男性

ごみ処理施設などの焼却場がありますね。あそこはお湯か何か流れるんですか。

町長

中ですべて処理していますので、外に影響の出るようなものは出ないです。

男性

そうなんですか。勘違いしてました。もし温水が出るならすっぽんか何か養殖した ら有名になるかと思ったもので。

町長

今は焼却して出る熱を使って発電し、中部電力に売っています。

女性

マイナンバーのことなのですが、東員町はいつごろ配達されて、届いたときは写真を持って役場のほうに行ったほうがいいのか。

財政課長

10月5日の住民票の情報を元に、全国一斉に番号通知カードというのを作っています。各市町村ごとに郵便局に到着して順番に発送されます。今一番新しい情報では東員町は11月15日から各世帯に発送といわれています。各世帯には番号だけの通知カードとマイナンバーカードを申請するための申請書が届きます。マイナンバーカードを取得していただくと、住基カードにかわって確定申告がインターネットを通じてできたり、今考えているのはコンビニで住民票を取ったりといったことです。

国としては今後健康保険のカードとしても使っていこうと考えており、必要になってくるとは思うので、できるだけカードを取得していただきたいと思います。通知カードにつきましては簡易書留で届きますので、まずは大事に保管しておいていただければと思います。